

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36105	ファッションとカルチャー Fashion and Culture	長谷川えり子			1	選択	1、2後期
科目の概要							
ファッションを文化的な側面からとらえ、生活様式との関連性について考える。世界的に注目されている日本の「かわいいファッション」について、内藤ルネの活躍について解説し、かわいいスタイルについて検討する。日本の伝統文化でもある和服について、概要、色柄、染色法について捉える。(DP②③) また、世界のファッション文化について、様相や伝統衣裳の面から調査し、地域別に特徴をとらえる。(DP③④) 授業では、グループワーク、個人ワークを通して、テーマ設定した内容について課題解決できる能力を養っていく。また、ファッションを通して、広い視野と柔軟な思考を身に付け、ライフスタイルを考える中で、独自の発想や表現方法を見出していく。(DP④⑤⑥)							
学修内容				到達目標			
① ファッションの変遷を学び、年代毎のスタイルの特徴を学び、ファッション文化について考える。 ② 日本の伝統文化を学び、ジャポニズムとしてのファッションの特徴を捉える。 ③ 世界の民族衣裳を学び、色、形、素材の面から地域の特徴を学修する。 ④ テーマ設定した世界のファッション文化について特徴を捉え、分析する。				① 年代毎の特徴から、ファッション文化を説明することができる。DP②③ ② 日本の和服の種類、柄、特徴を学修し、伝統美、職人技を知り、ジャポニズム文化を説明することができる。DP③ ③ 世界の民族衣裳の特徴を捉え、地域により異なる文化と魅力を考察することができる。DP③④ ④ これまで修得した知識を活用して、課題（世界のファッションと文化）についてまとめ上げ、発表することができる。DP④⑤⑥			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	グループワークでは、積極的に役割分担を考え、能率良く作業を進める。教員が提示した社会人基礎力の能力要素を授業内に意識して実践する。					
	働きかけ力						
	実行力	グループワーク、個人ワークともに、課題解決するための調査方法を考え実践する。					
考え抜く力	課題発見力	到達目標（テーマ発表）に達成するための課題を考えながらワークを進める。					
	計画力						
	創造力	授業で修得した知識をもとに新しい発想の観点から課題を考え、各自のテーマ設定を行う。					
チームで働く力	発信力	発表会では、調査内容をわかりやすく伝えるために工夫し、聞きやすいスピード、話し方を意識して発表する。					
	傾聴力	発表会では、問題意識を持ち、評価点を見い出しながら聞く。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：毎回プリントを配布する。 参考文献：なし							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：なし 資格との関連：なし							
学修上の助言				受講生とのルール			
普段からファッションに関心を持ち、ファッション雑誌、インターネットなどにより様々なファッションに触れるように心がけよう。また、生活全般にも興味を持ち、いろいろなシーンでの文化体験を取り組んでみよう。				グループワークで課題を進めていくので、メンバーと協力する。欠席した場合、時間外で補習する。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
		レポート	30	①	✓		<ul style="list-style-type: none"> ・授業のプリントや課題を丁寧にわかりやすくまとめる。 ・他者の発表を聞いて、良い点を見つけ、自分の言葉で記述することができる。 ・提出したプリントは、不備な点は指摘し、良い点は評価してフィードバックする。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓		<ul style="list-style-type: none"> ・課題をグループ、または個人でまとめ上げ、プレゼンテーションを行い成果発表する。 ➢パワーポイントは、わかりやすい構成を目指し、調査内容を明確に表現されているかを評価する。 ➢発表では、声の大きさや話し方を工夫しているかを評価する。 ➢発表内容は、設定したテーマに対して、これまで獲得した知識を十分に活用して、課題解決につながっているかを評価する。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> （主体性）グループワークでは、役割分担を考え、能率良く進めているか。 （実行力）課題解決のための調査方法を考え工夫しているかを発表内容で確認する。 （課題発見力）課題に対してどのように取り組み、解決したのかを発表できているかを発表内容で確認する。 （創造力）課題研究のテーマ設定で授業で修得した知識をもとに新しい発想のもと取り組むことができたか。 （発信力）発表会でのプレゼンテーションの内容（PP、発表原稿、話し方）を聴講者全員で評価する。 （傾聴力）他者の発表をしっかりと聞き、問題点や評価できる点を上げることができているかを質疑応答や提出プリントより判断する。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：ファッション文化について、国別にとらえ、特徴が把握できている。グループワークでは、主体的に取り組み、PP作成、発表の仕方などを工夫したプレゼンテーションを行うことができる。</p> <p>S：上記に加えて、他者の発表を聞いて積極的な発言や的確な評価ができ、前向きに取り組む姿勢がみられる。</p>	<p>B：ファッション文化について、概要をとらえている。グループワークでは、チームの一員として活動できる。他者の発表を聞いて、自分なりの評価ができる。</p> <p>C：上記の基準に対して、チーム活動では消極的な行動が見られる。課題発表の内容をまとめることができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ファッションと文化の関わり、授業内容概要を説明する。 ファッションと文化についてファッションを広義の意味で捉えるための概要を説明する。	講義、演習 NotebookLMで作成した授業内容の動画を視聴して、授業概要を説明する。 PCを活用して、日本の代表的な文化事項を調査する。	ファッション文化とは何かを考え、日本特有の文化を上げることができる。	(予習) シラバスを読み、内容を把握する。日本の文化の特徴をあける。 (復習) 授業で紹介したNotebookLMの動画を共有し、ファッションと文化の関わりについてまとめる。	60	主体性 傾聴力
2	ファッションと文化について① 日本のファッションの変遷を捉え、時代ごとのスタイルの特徴をとらえる。	演習、調査 PPにより解説する。 興味を持った時代に活躍したデザイナーとスタイルの特徴を調べ、時代背景とファッション文化について検証する。	時代ごとのファッションスタイルの特徴を理解し、文化と関連づけることができる。	(予習) 内藤ルネについて調べる。 (復習) 授業で興味を持ったデザイナーについてNotebookLMを活用して動画を作成し、視聴する。	60	主体性 課題発見力 発信力
3	かわいいファッションと文化について② 日本から世界へ発信されたかわいいファッションスタイルの特徴を捉え、内藤ルネの活躍を通して、かわいいスタイルを理解し、「かわいい」の意味を検討する。	演習、討議(ディスカッション) PPにより解説する。 ルネが発信したかわいい文化についてグループでディスカッションする。	内藤ルネの活躍状況を捉え、かわいいファッションと結びつけることができる。	(予習) 内藤ルネについて調べる。 (復習) ルネが作り出したかわいいファッション文化を検証する。	60	課題発見力 発信力 傾聴力
4	日本の文化について① 和服の種類と名称を画像にて解説し、色、柄、かたちの特徴を説明する。	講義 PPにより内容を紹介し、解説する。 内容をプリントにまとめる。内容を確認後フィードバックする。	日本の衣文化の特徴を理解し、説明することができる。	(予習) 自分の七五三の衣裳を写真から振り返り、色柄の特徴をとらえる。 (復習) 家にある和服について色、柄、素材を観察し、プリントにまとめる。	60	創造力 発信力 規律性
5	日本の文化について② テーマ設定したジャポニズムについて、役割分担して調査する。 (グループワーク)	演習、グループワーク 教員の説明後にグループでPCを活用して、テーマと調査内容を検討する。調査内容については、AIを活用して設定する。	課題に対して調査を進めることができる。	(予習) 和服の課題設定を考え、テーマを決める。 (復習) まとめた内容を振り返り、不足課題を考える。	60	主体性 課題発見力 創造力
6	日本の文化について③ テーマ設定したジャポニズムについて調査内容をまとめる。	演習、グループワーク 調査内容をPCを活用して、PPにまとめる。NotebookLMを活用してジャポニズムとしての特徴をまとめ、発表に向けて原稿を作成する。	日本の文化について発表するためにPPにまとめることができる。	(予習) 発表原稿を読み、練習する。 (復習) ジャポニズムの概要をプリントにまとめる。	60	主体性 発信力
7	日本の文化について④ テーマ設定したジャポニズムについて発表する。	演習、プレゼンテーション グループ単位で発表する。発表については、全員で質疑応答し、内容を深め合い、共に学び合う。	日本の文化について発表することができる。 他のグループの発表を聞き、質問ができる。	(予習) 発表原稿を読み、練習する。 (復習) 発表内容を振り返り、プリントにまとめる。	60	主体性 課題発見力
8	婚礼衣裳と文化 日本の婚礼衣裳について、変遷、特徴、概要を学修する。 世界の婚礼衣裳について、地域ごとの特徴を学修する。	講義、演習 PPにより説明後、国別のファッションスタイルをPCを活用して、調査し、まとめる。提出後、フィードバックする。	日本の婚礼衣裳の特徴を説明することができる。	(予習) 家族の婚礼写真を調べ、特徴をまとめる。 (復習) 調査した国の婚礼衣裳の特徴をまとめる。	60	主体性 課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	民族衣裳と文化 世界の民族衣裳について、代表的な地域の特徴(カラー、素材、デザイン)を学修する。 KENZO(高田賢三)の活躍について、作品の特徴と民族衣裳との関連を学修する。	講義、演習 PPにより解説後、国別のスタイルをPCを活用して調査し、まとめる。提出後、フィードバックする。	興味のある国の民族衣裳の概要を説明することができる。	(予習) NotebookLMを活用して、興味のある国と民族衣裳について調査する。 (復習) 調査した国の民族衣裳の特徴をまとめる。	60	発信力 傾聴力
10	世界のファッションと文化① (個人ワーク) テーマを設定して世界のファッションと文化を調査する。	演習、調査 課題説明後に調査項目を検討し、立案する。PCを活用して、テーマ内容を調査する。テーマ設定と調査内容については、NotebookLMを活用して計画案を作成する。	テーマを考え、調査項目を設定できる。	(予習) 調査テーマを考え設定する。 (復習) テーマ設定した世界の文化について資料を収集する。	60	主体性 実行力 課題発見力
11	世界のファッションと文化② (個人ワーク) テーマを設定して世界のファッションと文化を調査する。	演習、調査 図書館、もしくはPCを活用して各自調査し、PPにまとめる。	テーマを考え、調査項目を設定できる。	(予習) 調査方法、手順を検討する。 (復習) 設定した文化について調査を行い、PPの内容を点検する。	60	主体性 課題発見力 創造力
12	世界のファッションと文化③ (個人ワーク) 調査した内容をPPにまとめ、プレゼンテーションの準備を行う。	演習 発表内容について、PCを活用してPPを作成する。 PP内容に合わせて、発表用原稿を考え、発表の練習を行う。	PPで調査内容をまとめることができる。	(予習) 発表用のPPの構成を考える。 (復習) 調査内容をまとめる。	60	主体性 課題発見力 創造力
13, 14	世界のファッションと文化④⑤ 各自テーマについてプレゼンテーションする。他者の発表を聞いて発表内容の良い点を評価する。	演習、発表 調査した内容をまとめて、PPを活用して発表する。他者の発表を視聴し、シートに記入して学び合う。	PPで調査内容を発表することができ、他者の発表を聞いて、世界の文化の特徴を捉えることができる	(予習) PPの内容を確認し、発表原稿を作成する。 (復習) PP、発表原稿を振り返り、世界のファッションを検証する。	60	課題発見力 創造力 発信力 規律性
15	世界のファッション文化まとめ⑥ 発表内容全体を振り返り、世界のファッションと文化との関わりについて検証する。	講義、演習 最終授業では、発表全体のまとめを実施し、世界のファッションの全容を捉える。それぞれの発表内容について、再度解説を加えて、特徴的な内容を説明する。	国別のファッションと文化の関わりについて、特徴を捉えることができる。	(予習) 授業で視聴した内容の中で印象に残った発表を上げ、シートに記入する。 (復習) ファッションと文化の関わりについて振り返り、日本の文化の良さを見出す。		課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力